

入賞

住宅の部

建築主：M氏

設計：アトリエ24一級建築士事務所

施工：有限会社 伸建設

所在地：千葉市中央区

～内に開いた明るく開放的な住まいの実現～

車窓のほっこりする家～松波の家#2

計画地は、南西方向はJR線路脇の道路に面した角地で北東隣地は住宅が迫っている。道路からの通行人の視線と少し高い車窓からの視線が、住まいからの視線と重ならないよう考慮し、開口部の高さ、位置、大きさを設定している。2階の家族室と屋上リビングから線路側に広がる眺めは爽快だ。反対に車窓からの夜景は住まいの明かりが行燈のように灯ると想像できる。

建築主は国産の自然素材を使った、高性能断熱と気密の家族5人が安心して暮らせる住まいを望み、それに設計者が応えるかたちで緻密に設計を積み重ねていた。室内は吹抜上部のハイサイド窓や2階ベランダから自然光が入り、通風が確保され、1階LDKはプライバシーが守られた安心感のある空間で、家族室や個室とは吹抜を通じて繋がっている。全体が調湿に優れた木の温もりと香りが溢れる住まいに仕上がった。



1階ダイニングキッチンと上部吹抜け



西側(総武線側)外観夜景

外壁の国産杉材は建築主が塗装を施した。経年変化による多様性が期待できて通気性が良く、温度を下げる効果があるという。設計者はコスト調整に苦労したとのことだったが、双方のコミュニケーションが上手くいき建築主にとって満足できる住まいが完成したといえる。今後家族の成長とともに変化していく住まいである。

(藤本 香)

(撮影全て/松田哲也)

選考の基準

次の事項を選考の基準とし、総合的に審査します。

- デザイン性に優れていること
- 安全で快適な建築空間を創出していること
- 防災への配慮がなされていること
- その他、独自の取組や提案がなされていること
- まちなみや周辺の景観と調和がとれていること
- 環境負荷の低減に配慮していること
- 施工上優れていること

※建築基準法等の諸法令に適合しており、かつ近隣等との紛争が生じていないこと等も含む。

第27回千葉県建築文化賞検討会議

【敬称略 委員は五十音順】

委員長 北原 理雄：千葉大学名誉教授

委員 岡部 明子：東京大学大学院教授

副委員長 岩村 和夫：東京都市大学名誉教授

委員 加藤 未佳：日本大学准教授

委員 竹江 文章：一般社団法人千葉県建築士会会長

委員 藤本 香：建築士、千葉大学非常勤講師

千葉県建築文化賞は、多くの皆様の協力に支えられ、回を重ねてまいりました。

その間、県下の広い地域にわたり、164(奨励賞を含めると224)の建築物が受賞され、それぞれの地域に根付いています。第28回の作品応募は、令和3年夏頃行う予定です。皆様方の御応募をお待ちしております。

